

平成22年5月31日現在

研究種目：基盤研究（C）  
 研究期間：2006～2009  
 課題番号：18520542  
 研究課題名（和文） 近現代南アジアを焦点とした商業・商人文書の研究  
 —広域ネットワークとその地域接合  
 研究課題名（英文） Inquiry into the Historical Sources on Modern South Asian Commerce  
 and Merchants: Intra-regional Networks and their Linkage with  
 Regional Frameworks  
 研究代表者  
 大石 高志（OISHI TAKASHI）  
 神戸市外国語大学・外国語学部・准教授  
 研究者番号：70347516

研究成果の概要（和文）：本研究では、近現代の環インド洋諸地域（さらに日本など東アジアを含む）におけるインド人商人の広域的な移動と還流を分析対象とし、とくに、この研究の未開拓な状況を打開するために、新たな資料群の探求とその検証を行った。集中的な現地での調査によって、商人・企業家自身に由来する帳簿や広告媒体など、新カテゴリーの史料を遡及・収集できたほか、商標や営業ライセンスなど、滞留先の国家制度への結びつきを系統的に分析し、広域ネットワークの地域接合のあり方を解明した。

研究成果の概要（英文）：This research put focus on the intra-regional mobility and networks of Indian merchants within and beyond the Indian Ocean regions—including Japan, and inquired into the new historical sources for this less explored field. Intensive field tours revealed the new category of historical sources directly related to merchants/entrepreneurs like account registers and advertisements. The research also discussed the merchants' linkage with the regional frameworks through the analysis of various state institutions including trade marks and trade licenses.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,000,000	0	1,000,000
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	700,000	210,000	910,000
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
総計	3,300,000	690,000	3,990,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：インド、ムスリム、イスラーム、商人ネットワーク、環インド洋地域、軽工業製品雑貨、工業所有権、商標

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 近現代世界において、インド人移民や商人は、華僑・華人とともに、その規模や拡散性が突出しているにも拘わらず、研究の蓄

積が不十分のままであり、こうした状況を鑑みて、研究の進展を図ることを意図した。とくに、移民労働者と比較して、商人や企業家の広域展開もしくはネットワークについて

は、研究が立ち遅れており、世界の南アジア研究のなかで、新たな展開が求められている。(2) 植民地期から現在にいたるインド人商人・企業家の拡散について、イギリス帝国の拡がりとの兼ね合わせて捉えるか、商人やそのコミュニティにおける起業家性などの内的要素で理解するか、あるいは、移民・移住先の固有の社会状況を優先的に考えるかなど、分断的な理解状況にあり、新しい機軸が必要であった。また、こうした点を検証するためにも、新たな史料群の収集と探求が不可欠であった。

## 2. 研究の目的

(1) 本研究では、特に、インド人商人・企業家の広域的なネットワークが、どのような論理や関係性をもって、地域や地域国家の制度的枠組みと結びついてきたかという問題を、分析の焦点とした。

(2) インド人移民の中でも、特に、商人・企業家については、植民地体制との関係が、労働者と比べて、曖昧もしくは両義的であり、そのために、体系的な史料は期待ができなかった。本研究では、こうしたこれまでの史料的制約を突破すること自体も、主目的の1つとして念頭に置いた。

## 3. 研究の方法

(1) 本研究では、植民地期にインドから環インド洋地域や東アジアに広域ネットワークを拡散させた商人を直接の研究対象に置き、彼等自身から発せられた一次史料を発掘することを、最大の課題そして手法的特徴とした。このため、研究のなかでは、インドをはじめとする南アジアをはじめ、マレーシアやシンガポールなどの東南アジア、そして、香港や日本の東アジアで、現地調査を行い、商人・企業家の子孫を辿ることを辛抱強く繰り返した。

(2) 研究のごく初期の段階で、広域ネットワークを擁した商人が、インド以外の滞留先で、自らの身の安全性やビジネスの安定性を高めるために、商標やその他の工業所有権など、特定の制度に吸着する傾向があった事実を見出すことができた。本研究では、この着眼を発展させ、こうした制度に関する制度史研究の視角を取り入れるとともに、制度への登録に関する商人側の戦略を分析した。

## 4. 研究成果

(1) 本研究を通じて、南アジア各地や東南アジア、日本に渡航・訪問する機会を継続して与えられ、19世紀後半以降に広域ネットワークを拡張させたインド人商人とその子孫を、直接、遡及することができた。また、この結果、これまで、研究進展の最大の障害となってきた史料の制約の問題を、徐々にだが

克服し、帳簿や同業団体書類、広告媒体資料、商品の実物などを、入手することができた。これらの新収集史料は、徐々にではあるが、自身の研究のなかで用いている。また、結果的に、これらを用いて、インド人商人や商業・産業史研究を越えた社会・政治史の分野に架橋するような研究を模索的に生み出しつつある。

(2) 広域ネットワークと地域的な枠組みとの関係を考える重要な資料、そして論点として、商標、意匠、特許などのいわゆる工業所有権や、営業ライセンスの問題を、新たに、設定することができた。そして、研究期間中、こうした制度に結びついたインド人商人の記録を、とくに、日本、インド、南アフリカの文脈で、系統的に分析することができた。またこの関連では、英領インドにおける工業所有権の不整備という問題を、逆に、照射し、今後の研究課題として明らかにした。全体として、こうした分析は、従来、イギリス帝国の枠組みと重ね合わせて理解する傾向が強かったインド人商人・企業家の拡がりやネットワークに対する視角に修正を加えるものともなった。

(3) 本研究の途上で、広域ネットワークが、1920年-30年代以降、徐々に、インドへ部分的に回帰もしくは再収斂する傾向があったことに着目することができた。また、この過程で、商人資本が工業資本に転化する傾向もあり、インド地域社会との関係がより直接に問われる傾向があったことも、分析の対象とすることができた。本研究では、とくにこうした事例を、マッチに加えて、ガラス装飾品・小瓶の事例を通じて、明らかにすることができた。

(4) インド人商人の広域ネットワークのなかで、日本が、インドへ輸入する軽工業製品のソースとして、突出して重要であったことを指摘することができた。この結果、こうした軽工業製品の「雑貨」の位置づけを、近代日本の工業化の一翼を担った輸出製品という従来の文脈から、インドにおける大衆消費財市場の登場とそれに伴う社会変動という社会経済史的テーマの舞台に導くことができた。例えば、日本製のガラス装飾品や自転車完成・部分品の急速なインド市場への流入が、インド社会の中の社会的もしくは経済的な階層秩序の変動に伴うものであったことを明らかにした。

(5) この研究期間中、日本での研究会や国際ワークショップのみならず、インドやそのほかのアジア（マレーシアなど）、そして、ヨーロッパの各地において、学会などの場所を通じて、積極的に、研究成果を報告することができた。特に、ヨーロッパ南アジア研究会の隔年年次総会（2006年）や国際経済史学会（2006年および2009年）、アジア研究者

会議（2007年）、ヨーロッパ社会科学・歴史研究大会（2008年）などで、報告とペーパー提出の機会を得た。詳細は、次項の「5：主な発表論文等」を参照されたい。こうした研究成果の取りまとめと出版への具体的な作業は、現在、継続して進めている。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計6件）

① Takashi OISHI, *Aspects of Labour Intensive Economy around Bicycles in Modern India with Special Focus on the Import from Japan* 京都大学 G-COE 「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」 Working Paper Series71, 2009 March 1-24 頁 査読無

② 大石 高志 「歴史研究の変化と展望：分散、拡散、還流のなかの地域像をもとめて」『南アジア研究』（日本南アジア学会編）20号、2008年12月、190-207頁 査読有

③ 大石 高志 「雑貨・食糧品ビジネスの探求—インド人商人ネットワークの広域的展開」『自然と文化そしてことば』第4号（インド洋海域世界—人とモノの移動） 胡蘆舎 2008年4月 52-59頁 査読無

④ Takashi OISHI “Indian Muslim Merchants in Mozambique and South Africa: Intra-regional Networks in Strategic Association with State Institutions, 1870s-1930s,” in *Journal of the Economic and Social History of the Orient*, Leiden, Brill, Vol.50, No.2-3, 2007, pp.287-324. 査読有

⑤ 大石 高志 「インドにおけるマッチ産業と女性・児童の労働—矮小化と弾力性の表裏関係」『外国学研究』〈特集：女性と世界〉 神戸市外国語大学 66号 2007年 77-105頁 査読無

[http://ci.nii.ac.jp/els/110006442925.pdf?id=ART0008452137&type=pdf&lang=en&host=cinii&order\\_no=&ppv\\_type=0&lang\\_sw=&no=1275347168&cp=](http://ci.nii.ac.jp/els/110006442925.pdf?id=ART0008452137&type=pdf&lang=en&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1275347168&cp=)

⑥ 大石 高志 「繋がり、広がり、逸脱—インドにおけるムスリム皮革・食肉商工業者のネットワークとその恣意的読み替え」『現代思想』（特集 イスラームと世界—衝突か抵抗か） 青土社 34巻6号 2006年5月 212-229頁 査読無

〔学会発表〕（計12件）

① Takashi OISHI, “Workmen, Machines, Schemes Shifted from Japan to India: Mobility of Labour Intensive Production in the Cases of Matches and Glass wares,

1900-1940,” XVth World Economic History Congress: IEHA, Utrecht (The Netherlands): 6 August 2009. 提出ペーパー 21ページ

② Takashi OISHI, *Intra-Asian Diffusion/ Mobility of Labour Intensive Economy: Focus on Matches and Glassware* 京都大学 G-COE 「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」 国際会議 Labour-intensive Industrialisation in South and Southeast Asia 2008年12月20-21日、京都大学東南アジア研究所. 提出ペーパー 13ページ

③ Takashi OISHI, *Japanese Business Sojourners in Calcutta: Living the Business, City, Empire and Networks*. 国際会議 Migration, Diaspora and the City: Mobility and Dwelling in Calcutta (社会科学研究所とロンドン大学との共催) 2008年12月12-13日 インド国 コルカタ市 Centre for Studies in Social Sciences. 提出ペーパー 16ページ

④ 大石 高志 「インド系ムスリム商人と東南アジア：広域ネットワークの地域接合とその歴史の変容」第53回 国際東方学会会議（部会「近代における東南アジアのイスラームとインド洋ネットワーク」）2008年5月16日、日本教育会館（東京）

⑤ 大石 高志 「ムスリムにおけるアイデンティティとその物象化」日本南アジア学会、20周年記念連続シンポジウム、2008年4月26日、東京大学

⑥ Takashi OISHI “Aspects of Labour Intensive Economy around Bicycles in Modern India with Special Focus on the Import from Japan.” Global COE Program: Initiative 1 “Joint Workshop on Labour-intensive Industrialisation in Southeast Asia” Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University 1st to 2nd March 2008 提出ペーパー 18pp

⑦ Takashi OISHI “Intra-regional Network and Trust: Indian Muslim merchants over to East Asia, c.1890-1950.” The European Social Sciences History Conference, Lisbon, Portugal, 28 February 2008 Session: Colonialism, Capitalism and Network Formation: the Indian Ocean Region, 1800-1950. 提出ペーパー14pp

⑧ 大石 高志 「歴史研究の変化と展望」南アジア学会第20回全国大会 全体シンポジウム「南アジア・日本・世界—グローバル化と南アジア認識の変貌」2007年10月7日 大阪市立大学

⑨ Takashi OISHI “Dynamics of Niches carved out by Indian Muslim Merchants in the Trade with Southeast Asia: Betel-nuts on the Intra-regional Networks, 1880s-1940s.” ICAS (International

Convention of Asia Scholars) 5, Kuala Lumpur Aug. 2-5, 2007. 提出ペーパー31pp.

⑩Takashi OISHI “Reaching Kobe, Japan, along the Chain of Colonial Ports and Settlements: Intra-regional Networks of Indian Merchants from the 1880s to the 1930s.” International Workshop “Maritime Trade and Trading Metropolises: Europe and Asia, 17th to 20th Centuries,” Universitat Hamburg, Germany, 30-31 August 2006. 提出ペーパー32pp.

⑪Takashi OISHI “Indian Muslim Merchants in the Indian Ocean Regions and Beyond: Intra-regional Networks in Strategic Association with the State Institutions,” 19th European Conference of Modern South Asian Studies, Leiden (The Netherlands), 28 June 2006. 提出ペーパー29pp.

⑫Takashi OISHI “Comparative Perspectives on Indian Merchants’ Intra-regional Networks: A Review from the State and “Big Business” . 14th International Economic History Congress, Helsinki, Finland, 24 August 2006. 提出ペーパー32pp.

[図書] (計6件)

①大石 高志「近現代南アジアのイスラーム：デオバンド派を焦点にして」『研究シンポジウムー30年の後ー』(30Years after 1979: Consequence of Iranian Revolution, Soviet Invasion of Afghanistan, Peace Treaty between Egypt and Israel) 2010年2月 東京外国語大学 116-121 ページおよび211-218頁

②大石 高志「インド人商人のネットワーク：広域秩序と雑貨食糧品ビジネス」遠藤乾編『グローバル・ガバナンスの最前線：現在と過去のあいだ』学振選書<未来を拓く人文・社会科学>東信堂 2008年3月 222-242頁

③大石 高志「ボホラーに見る企業家精神とその制度的諸前提」『シーア派諸社会の特質とネットワークを考察するための総合研究』山岸智子編(科研費研究成果報告書) 2008年6月明治大学 111-116頁

④Takashi OISHI “Differentiated Consumption of Matches in Modern India: Interaction between Marketing Strategy and Preferences” 『インドにおける消費パターンの変化と中小・在来産業の展開：1860-1950年』柳沢悠編 平成19年3月 41-80頁

⑤Takashi OISHI “Hesitant Touch: Diaspora Networks of Indian Muslim Merchants and their Linkage with Homeland, 1870-2000” in *The International Conference on Globalization and Diasporas*. A proceeding

volume edited by Research Team for Indian Diasporas, Channam National University, Korea, 11-12 May, 2007. pp.13-28.

⑥Takashi OISHI “Political Configuration of Match Label Designs in Modern India: Merchants’ Network, State and Nationalism.” 『アジア諸社会におけるエリートネットワークと文化表象ー比較研究の試み』科学研究費補助金 研究成果報告書 代表：中里成章 東京大学東洋文化研究所 2006年95-114頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

大石 高志 (OISHI TAKASHI)

神戸市外国語大学・外国語学部・准教授

研究者番号：70347516